



# 学校給食は 内容充実の時代 を迎えました。

留萌市学校給食センターが、東雲町一丁目に昨年の末に完成し、三学期から新・給食センターで給食を作り、小・中学校あわせて十六校に運ばれています。

留萌市が、学校給食を始めたのが昭和四十年、すでに二十五年、四半世紀がすぎました。時代とともに給食がめざす目的が充実を増し、全市の児童・生徒が同じ給食を食べるという行為を「普及させる時代」から、児童・生徒のからだづくりのために給食づくりを考えた「内容充実の時代」へと移ってきました。そのような時代の流れのなかで、留萌市学校給食センターは「清潔かつ安全で、人間のからだづくりの出発点である小・中学校の大切な世代に、栄養のバランスのとれた食事を食べてもらおう」とお母さんの気持ちになって考え、給食づくりをしています。